



医療・保健・福祉・市民の情報交流の場  
第88号 大村市在宅ケアセミナーだより 平成22年1月号



発行元：〒856-0820 長崎県大村市協和町779 (社) 大村市医師会内 大村市在宅ケアセミナー広報部 TEL0957-54-0151  
ホームページ： <http://www.nagasaki.med.or.jp/oomura/caresemi/caresemi.htm>  
～ 上記アドレスにてセミナー便りを掲載しています。セミナー便りの郵送料軽減にご協力できる方は、事務局までご連絡いただければ幸いです。～

## 「第105回 大村市在宅ケアセミナーのご案内」

開催日時： 平成22年 1月21日 (木) 18:45～

開催場所： 大村市医師会館 講堂

(今回は、医師会館での開催となります！)

内 容： <演 題> 「在宅における褥瘡について」

演 者： 神田クリニック 神田和亮 先生

大村市医師会訪問看護ステーション 管理者 酒井眞弥子 氏

### 平成21年度 大村市在宅ケアセミナー新年会 (上記、セミナー終了後)

開催日時： 平成22年 1月21日 (木) 20:00 (第105回セミナー終了後)

開催場所： 大村市医師会館 講堂にて上記セミナー終了後、引き続き開催致します。

会 費： 1,000円 (会員・非会員共)

本年も、医療・保健・福祉・市民の情報交換の場として、新年会を開催致します。

在宅ケアセミナー参加者の新年の顔合わせ会ですのでふるってご参加ください。

## 「第106回 大村市在宅ケアセミナー開催予定」

日時：平成22年 3月18日 (木) 18:45～大村市民会館 大会議室

講演：「地域医療・チーム医療における漢方～脳卒中のリハビリテーションを促進する漢方の機能～」 (仮題)

講師：新生会病院 脳神経外科 リハビリテーション科 部長 横山信彦 先生 (予定)

# 「第104回 大村市在宅ケアセミナー開催報告」

開催日時：平成21年11月19日（木）19:00～21:00

開催場所：大村市民会館 3階 大会議室 司会 黒江直樹 氏

講演内容：「高齢者の薬で気をつけたいこと」 参加人数：56名

講師：大村東彼薬剤師会 理事 河村綾子 先生

＜参加者の感想より＞

- ※ 久しぶりに参加させて頂き、以前と変わらず解り易い講義で、また勉強になりました。
- ※ ジェネリック医薬品について、聞くことができて良かった。専門の方の話が聞けて勉強になりました。
- ※ 興味のある内容で、とても解り易い講演でした。来て良かったです。
- ※ パワーポイント、手元の資料の字が小さく見づらかった。質疑応答、大変有意義だった。
- ※ 有意義な時間を過ごせましたが、開始、終了は、時間厳守でお願いします。時間をやりくりして参加しています。時間が守られないようであれば、参加意欲も無くなってしまうのでよろしくをお願いします。

# 「大村市在宅ケアセミナー介護技術研修会の報告」

開催日時：平成21年11月13日（金）（受付開始）18:30～（開会）19:00～

会場：コミュニティセンター 大会議室

講師：県央地域リハビリテーション広域支援センター 協力施設

市立 大村市民病院 リハビリテーション科 PT/OT 18名

参加者数：介護保険サービスに従事する介護・看護職員（経験年数3年未満） 111名

指導内容：①ベット上での起居動作 ②車イスへの移乗介助 ③トイレでの排泄介助  
④ベット上での更衣介助 ⑤片麻痺の方の歩行介助 ⑥セラバンドを使った機能訓練法

受講者を18名ずつ6つのグループに分け15分おきにブースをローテーションする形態を取りスムーズな研修を実施することができました。当初、緊張からかぎこちなかった講師の皆さんの指導も徐々に熱が入り受講者と講師の真剣さが伝わる良い研修会となりました。

参加された皆さんから今後も研修会の開催を希望する声を多数頂き、充実した研修会となりました。

（参加者ならびに関係者の皆様方、開催へのご協力本当にありがとうございました。）

## 介護職員の技術アップ 施設の若手111人が参加 大村で大規模研修会

高齢者福祉施設や病院などで行う「大村市在宅ケアセミナー」と大村市は13日夜、同市幸町の市コミュニティセンターで、若手介護職員向けに大規模な介護技術研修会を初めて開いた。同セミナーは1991年に発足し、介護の現状や課題などについて定期的に講座を開催。介護現場では慢性的な人手不足で研修の機会が減っていることから、無料で研修会を開催することにした。研修会には、デイサービスセンターやグループホーム、病院など41事業所で働く、経験3年未満のヘルパーなど111人が参加。市立大村市民病院の理学療法士や作業療法士計18人が講師を務め、着替えや排せつ、歩行など六つの動作の介助訓練を行った。同セミナーの井上博伸会長は「待遇の低さと仕事のきつさから介護職員の離職が相次いでおり、現場での技術継承が途絶えているのが現状。連携して質の低下をくい止めたい」と話していた。 =2009/11/15付 西日本新聞朝刊=